

日中戦争における日本軍の『加害』を描いたドキュメンタリー映画

「豹変と沈黙～日記でたどる沖縄戦への道」

東京・新宿 K's cinema で公開中・**8/29 (金) まで**

敗戦 80 年、各地で戦争に関する映画が上映されていますが、新作で、日本軍の『加害』を見つける内容のものは数少ないと思われます。この映画はそんな作品です。

4 人の一兵卒の『戦中日記』をたどりながら、戦場のリアルを追っていく内容。1937 年に本格化した日中戦争。捕虜の虐殺、略奪、慰安所通い…日記は、日本軍の『加害』も静かに伝えています。

一兵卒らの罪を暴こうというわけではありません。敗戦 80 年の節目。日本軍の加害、日本国家の罪責を再び検証すべきではないかという問題提起です。

★連日、上映後トークイベントを開催中です

★8月26日(火)のゲストは 黒井秋夫さん

1948 年生まれ。「PTSD の日本兵家族会・寄り添う市民の会」代表。戦時中、中国に出征した亡き父が精神に傷を負い、戦後は PTSD に苦しんでいたのではと考え、各地の元兵士の遺族らと証言活動を続けています。

「今も、あの父親を思うと心が震え平常心ではいられない。まだ戦争は終わっていない」と訴えます。

映画「豹変と沈黙」は、まさに一兵卒たちが戦場で「鬼」に変えられていく中、人間性を奪われ、心が壊れていった様子がよく分かる内容となっています。

「鬼」に変えられた日本兵らは、多くの加害を繰り返し、アジア各地で膨大な数の被害者を生み出しました。同時に、日本兵らも自らの精神を度し難く傷つけていました。兵士に仕立て上げられた彼らもまた、日本国家の被害者と言えます。

戦争に勝者はなく、誰もが甚大な被害を身に受け、誰もが命を著しく損なう。そんな戦争を二度と繰り返さないため、黒井秋夫さんと本作映画の監督原義和がトークセッションをします。

★上映は 朝 10:00 開映 1 日 1 回上映のみ 8/29 (金) まで

※全国順次公開

★上映後トークイベント

- 8/23 (土) 平良愛香さん (牧師、平和運動家) & 監督・原義和
- 8/24 (日) 金平茂紀さん (元 TBS 記者) & 監督・原義和
- 8/25 (月) 監督・原義和 舞台挨拶
- 8/26 (火) 黒井秋夫さん (PTSD の日本兵家族会・寄り添う市民の会) & 監督・原義和
- 8/27 (水) 田中宏さん (一橋大学名誉教授) & 監督・原義和
- 8/28 (木) 丁曉琳さん (百年留学生記念館) & 監督・原義和
- 8/29 (金) 平良愛香さん (牧師、平和運動家) & 監督・原義和

◆問い合わせ: 原 義和 (本作監督)

nausicaa2020@goo.jp 携帯 090-1544-9350

◇公式 HP <https://www.yoshikazuhara.com/> ◇本作監督 (原 義和) 個人 note <https://note.com/hara818>

